

何故、中国人がうるさいのか？

中国人観光客のイメージとして、「声が大きい」「場所を構わずうるさい」「並ばない」等、マナーの悪さを第一にあげる日本人も少なくありません。確かに団体で動けば動くほど、声は大きくなり、周りに対しての気配りはなくなってくるのでしょうか。

しかしながら、我々日本人も、かつて同じ行動を海外旅行でしていたのではないのでしょうか？

今でこそ日本人の団体ツアーは、組織や商務でなければ、あまり見かけなくなりました。しかし、25年前の日本の海外旅行はどうだったのでしょうか？旅行会社が企画した団体ツアー、いわゆる旗振りツアーに参加するのが一般的でした。飛行機や宿泊ホテルはもちろん、食事も全部付き、買い物先まで決められている、その様なパックツアーでした。添乗員さんに案内され、バスにさえ乗れば行程通りに進んでいく。団体であるゆえ、不安な気持ちも半減し、ニューヨーク五番街や、パリのシャンゼリゼ通りを大声で話しながら歩く日本人の様子を地元の方達に、怪訝な顔で見られていた事はない、と言い切れるのでしょうか。

まだまだ中国人には国際的なマナーが浸透していない＝かつての日本人もまた同じ。東京オリンピック前の東京では、「立ち小便是やめましょう」という張り紙があったと聞きます。

そして、大きな差異としては、言語です。中国語は四声といって発音に大きな抑揚がつかます。外国人が聞くと一本調子に聞こえる日本語。そんな日本語の発音に比べれば、うるさく聞こえて当たり前です。筆者の上海事務所のスタッフも、日本語で話す時と中国語で話す時では、声の調子も大きさも変わります。同じ内容を話していたとしても、中国語では怒り出したかの様に聞こえ、日本語では穏やかに聞こえます。

仕事等で、中国語の通訳士を雇われた方などは、きっと同じ様に感じられた経験があると思います。

筆者が24年の旅行業経験から常日頃、機会あるごとに発言させて頂いて入るように、今後中国旅行社は、FIT向けビザの緩和から、個人嗜好を重点に考えられた個人向け訪日パッケージツアーを中心に販売していきます。個人の趣向を叶えられなければ、旅行は楽しくも何ともありません。安い料金に納得し、いざ現地に入れば時間の自由も、行きたい場所の自由もないツアーは、もう減少していくばかりです。

団体ツアーから、訪日個人型パッケージツアーが浸透することにより、中国人への印象も変わっていくことと思います。ひとりひとりの中国人に対応してみてください。全て

の中国人が、マナーの悪い人ばかりではありません。

国際的マナーがもっと多くの中国人に浸透されるには、あと少し時間がかかるかもしれませんが。しかしながら、我々日本人の 25 年前の海外旅行の姿を思い起こしてもらえれば、中国人観光客に対して少し心に余裕が持てるのではないのでしょうか。